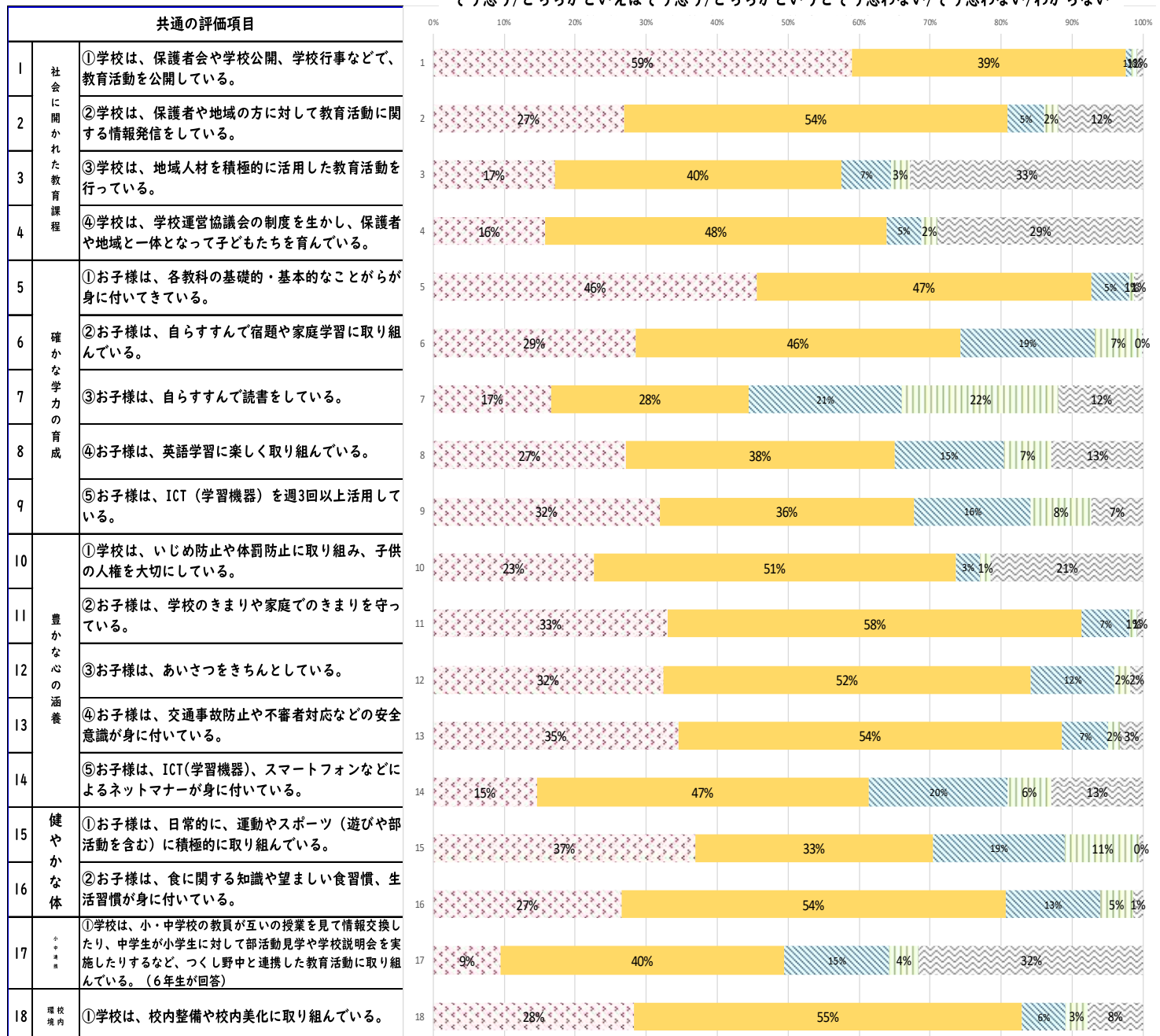


学校評価保護者アンケート集計結果のご報告

日頃より本校の教育活動に対し、格別のご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。さて、先日はご多用のところ、学校評価アンケートにご回答いただきありがとうございました。このたび、アンケートの集計結果がまとまりましたので、ご報告いたします。今年度の回答率は69.0%となり、昨年度と比較して13.7ポイント減少する結果となりました。皆様からお寄せいただいた貴重なご意見を真摯に受け止め、今後の教育活動のさらなる改善に努めてまいります。来年度におきましても、引き続きご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

保護者アンケート項目「町田市共通の評価項目」集計結果グラフ

そう思う/どちらかといえばそう思う/どちらかというそう思わない/そう思わない/わからない



【自由記述欄の意見より】

自由記述欄（回答数 98）には、本校の教育活動や各担任・学級へのご意見・ご要望、肯定的なご意見等多数いただきました。すべてのご意見に回答することはできませんが、複数いただいた意見を中心に、現状の対応と今後の計画についてお答えします。○「情報共有と ICT 活用」については、「teturu」や「classroom」による発信への評価の一方で、確認の煩雑さについてのご指摘をいただきました。本校では現在、「重要な連絡や学校・学年全体の通知は teturu」、「学級ごとの詳細な連絡は classroom」という役割分担で運用しております。今後も、保護者の皆様がよりスムーズに情報を確認できるよう、整理した発信に努めてまいります。また、授業内での効果的な ICT 活用や、家庭での利用ルールについても継続して指導を行ってまいります。○「安全管理と環境整備」については、不審者などの情報をいち早く共有することやトイレの衛生面へのご要望をいただきました。防犯・防災情報は引き続き速やかに配信し、安全確保を徹底します。施設面では、日常的な清掃による清潔な環境作りを継続しつつ、市への修繕・改善要望を行ってまいります。また、登下校時の荷物の重さ軽減については、来年度より市全体で、荷物の重量目安を定める「荷物らくらく登校」が実施される予定です。詳細については 4 月に市からお知らせがありますので、学校としても児童の負担軽減に向けて適切に対応してまいります。○「学習・生活指導」については、宿題の量や内容、家庭での挨拶指導の進め方についてご意見をいただきました。宿題については、個々の学習状況に応じた柔軟な対応が可能ですので、学級担任にご相談ください。また、大人数での生活の中でも、一人一人に寄り添い、丁寧な言葉かけやきめ細やかな指導ができるよう、教職員一同努めてまいります。○「教職員の対応・行事」については、担任や支援員等の子供に寄り添う姿勢や音楽発表会等での成長など、皆様からの温かなお言葉を励みに、より良い教育環境づくりを進めてまいります。皆様のご意見を真摯に受け止め、今後の教育計画に生かしてまいります。今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

【評価項目について】

	肯定的評価割合 昨年度 (%)	肯定的評価割合 今年度 (%)	改善の方向性
1	98	98	昨年度に続き、非常に高い評価を維持する。今後も授業公開や行事において、保護者が参観・観覧しやすい運営方法を継続し、子供たちの活躍をより良い環境で披露する。
2	83	81	高い水準を維持しているが、微減傾向にある。teturu や HP、classroom 等を活用し、学校での子供たちの様子や必要な情報を、保護者へより迅速かつ確実に届ける。
3	58	57	微減となったが、地域・企業と連携した出前授業等は継続する。今後も地域人材の開拓を進めるとともに、活動の様子を積極的に発信し、学校への理解と協力を得る。
4	78	64	肯定的な評価が大きく低下したことを真摯に受け止める。地域ボランティア等との交流機会を再整理し、学校・家庭・地域が一体となって子供を育てる体制をより強固に構築する。
5	92	93	昨年度を上回る高い評価を得た。各教科の基礎的・基本的内容の確実な定着を図るとともに、対話的な学びをさらに充実させ、子供たちが主体的に学ぶ授業改善を推進する。
6	77	75	肯定的な評価が微減した。漢字・計算・音読等の基礎学習に加え、Qubena 等の ICT 端末を効果的に活用した家庭学習を提示し、個々の習熟度に応じた学習習慣の定着を支援する。
7	49	45	依然として評価が低い傾向にある。朝読書や読み聞かせ、デジタル図書の活用をより計画的に実施する。市立図書館とも連携し、本に親しむ環境作りを一層強化する。
8	65	65	昨年度と同水準の評価を維持する。専科教員や ALT による指導の充実に加え、体験学習を通じ、英語を学ぶことが好きな子供が育つような学習活動を継続する。
9	79	68	肯定的な評価が低下した。系統的な指導により、ICT 端末を適切に操作するスキルや情報活用力を高める。授業での効果的な活用場面を増やし、学びを深めるツールとして定着を図る。
10	68	74	評価が向上した。心のアンケートや組織的な見守り体制を継続する。いじめの兆候を早期に捉え、迅速な対応・解決を図る体制をより一層強化する。
11	86	91	肯定的な評価が大きく向上した。さまりの意義を子供自身に考えさせ、集団生活の中で互いを尊重し、自律的に行動できる規範意識を育てる指導を継続する。
12	86	84	高い水準を維持するが微減した。代表委員による挨拶運動や、全教職員による日常的な指導を全学級で継続し、明るい挨拶が響き渡る活気ある学校づくりを推進する。
13	88	89	昨年度に続き高い評価を得た。警察と連携した交通安全教室、避難訓練や安全指導を通じ、自らの身を守るために危険を予測し回避できる子供の育成に努める。
14	57	62	評価は上昇傾向にある。引き続き GIGA ワークブック等を活用し、SNS トラブル防止やネットマナーについて、発達段階に応じた系統的な指導を行い、意識向上を図る。
15	75	70	肯定的な評価が低下した。運動旬間や縄跳び週間等の取組に加え、外遊びを奨励し、日常的に運動に親しみ、体を動かす楽しさを実感できる機会を増やす。
16	80	81	昨年度を上回る評価を得た。給食だよりや家庭科の授業を通じ、健康への理解を深める。給食の時間に、望ましい食習慣が身に付くよう丁寧な指導を継続する。
17	25	49	肯定的な評価が大幅に向上した。中学校訪問や交流会、教員間の情報共有をさらに密にする。中学校生活を見据え、自信をもって進学できるような支援と指導を強化する。
18	81	83	さらに高い評価を得た。日々の清掃活動や用務主事による整備を継続し、子供たちが気持ちよく学校生活を送れるよう、清潔で整った安全な教育環境の維持・向上に努める。